

受入団体名：nuitto（旧うちラボ）

募集人数

プロジェクト/団体プログラム名：
こどもたちの放課後に関わり、地域の居場所を知る活動

10名

<活動期間：2026年10月～2026年12月 活動日数：8日程度>

<主な活動場所>

いばなかBASE（大阪府茨木市元町3-39）
（最寄駅・バス停など：阪急「茨木市」駅）

<活動日or 活動パターン>

■週2日・定例（しゅくだいサポート、火・金 15:30～18:30）
+不定期（地域調査：放課後こどもクラブ等の訪問・参加）

<キャンパスからの交通手段>

<活動の流れ>

日時	活動内容
10/9（金）	オリエンテーション 16:00～18:30（nuitto・しゅくだいサポートの紹介、現場見学）
10月中旬	しゅくだいサポート参加①（子どもたちと宿題）
10月下旬	放課後こどもクラブ訪問①（見学・参加体験。地域の居場所を体で知る）
11月上旬	しゅくだいサポート参加②（定例）
11月中旬	放課後こどもクラブ訪問②（もう一か所を訪問・比較）
11月下旬	こども食堂参加（住民・地域の方・学生が集まる夕食の場）
12月上旬	しゅくだいサポート参加③ + 中間振り返りミーティング
12/20（日）	活動まとめ・シチズンシップ・スタディーズ活動報告会（チームの学びをアウトプット）

<活動に必要な費用>
交通費（自己負担）のみ。

<参加の姿勢>
「支援する」ではなくフラットにかかわること。

<コミュニケーションの手段>
■電子メール ■LINE

<活動のテーマと主な内容>

こどもたちの放課後に関わりながら、地域の居場所のつくり方を考える

活動の柱のひとつが「しゅくだいサポート」。学校でも塾でも家でもない場所に、放課後の小学生がやってきます。宿題をしながら、おやつを食べながら、なんとなく大人に話しかけてくる。特別なプログラムはなく、「ただそこにいる」ことで生まれる関係を大切にしています。

もうひとつ今年は「地域の放課後を知る活動」に取り組みたいと思っています。
茨木市内の放課後こどもクラブや子ども食堂など、類似の取り組みに足を運び、見て・手伝って・話して帰ります。

<活動する現場で学生が求められる背景（理由）>

宿題をしながら、一緒に遊びながら、一緒にご飯を食べながら、なんとなく"大人"と繋がっていく——そんな時間が、子どもたちにとっての「第三の場所」になっています。

nuitoは茨木市商店街の中で、地域の子どもたちが放課後に集まる「しゅくだいサポート」の場をつくってきました。小学4年生になると学童が終わります。放課後、一人で家にいる子が増えてくる時間帯に、勉強を教えるでも遊び相手をするでもなく、「ただそこにいてくれる大人」として関わってほしいと思っています。

茨木市には放課後こどもクラブをはじめとする類似の取り組みが複数あります。学生と一緒にそれらの現場を訪れ、どんな仕組みで動いているのか、どんな関係が生まれているのかを、実際に体験しながら理解してほしいと思っています。

ボランティアを求めているというよりも、こどもたちの放課後のことを一緒に考えてくれる仲間を求めています。

<学生が期待できる学び>

- ・「居場所をつくる」とはということかを、実際の場所と関係性の中から理解できる
- ・「支援する・される」ではないフラットな関わりの実践を積み重ねることができる
- ・地域の複数の現場を見ることで、子どもの放課後をめぐる多様なアプローチを比較できる
- ・「大人」として子どもたちと向き合う経験を通じて、自分自身の来し方や関わり方を振り返るきっかけになる

<活動紹介>

nuito（旧うちラボ）は2021年から、茨木市の府営住宅を舞台に若者向けシェアハウスと地域コミュニティ活動を行っています。2026年度よりNPO法人化準備中。

活動の柱のひとつが「しゅくだいサポート」。学校でも塾でも家でもない場所に、放課後の小学生がやってきます。宿題をしながら、おやつを食べながら、なんとなく大人に話しかけてくる。特別なプログラムはなく、「ただそこにいる」ことで生まれる関係を大切にしています。

特別支援でも教育ボランティアでもなく、ただ子どもたちにとっての「また来てくれた人」として顔を覚えてもらい、関係性ができていくことが、この活動のひとつの目標です。

もうひとつ今年「地域の放課後を知る活動」に取り組みたいと思っています。

茨木市内の放課後こどもクラブなど、類似の取り組みに実際に足を運び、見て・手伝って・話して帰ります。体験したことはチームで持ち寄り、「地域の居場所のつくり方」について考えたことを12/20の活動報告会でアウトプットします。

